

早稲田の杜金管合奏団

第8回定期演奏会



The Waseda Brass the 8th regular concert

2008年2月23日(土)開演15:00

新宿区角筈区民センター

Part1

フロレンティナー・マーチ

フチーク作曲 バルソッティ編曲

第12 旋法のカンツォン

ガブリエリ作曲 キング編曲

合奏協奏曲「四季～冬」より「ラルゴ」

ヴィヴァルディ作曲 大原実編曲

『白鳥の湖』より「情景」「四羽の白鳥の踊り」「ファンファーレ」「ナポリの踊り」

「ロシアの踊り」「ハンガリーの踊り」 チャイコフスキー作曲 大原実編曲

Part2

アランフェス協奏曲より

ロドリゴ作曲 山瀬幸雄編曲

バンドネオン協奏曲より

ピアソラ作曲 大原実編曲

Misty China Town/天国のドア

松任谷由実作曲 大原実編曲

Getaran Jiwa (ゲタランジワ)

ラムリー作曲 由谷一幾編曲

管弦楽のためのラプソディ

外山雄三作曲 中島章博編曲

Part 1

フロレンティナー・マーチ (J.Fučík, R. Barsotti 編曲)

フチーク (1872-1916) はオーストリア・ハンガリー帝国時代のボヘミア (現チェコ) 出身の軍楽隊長で、行進曲を 300 曲以上作曲しており、「ボヘミアのスーザ」とも呼ばれる。本作はフチークの代表作。

第 12 旋法のカンツォン (G.Gabrieli, R.King 編曲)

ジョヴァンニ・ガブリエリ (1554-1612) はルネサンスからバロックへの橋渡しの作曲家。叔父のアンドレア・ガブリエリの死後、ベネチアのサンマルコ寺院第 1 オルガニストに就任。サンマルコ寺院の大聖堂には左右 2 組のオルガンとステージがあり、この特性を生かした立体的な器楽曲を多数残している。

合奏協奏曲「四季～冬」より「ラルゴ」(A.Vivaldi, 大原実編曲)

日本人には有名な「四季」の 4 曲目である「冬」の第 2 楽章。ワセキン版はソロをヴァイオリンではなくユーホニウムで。ソリストは山田徹。

バレエ音楽「白鳥の湖」より (P. Tchaikovsky, 大原実編)

- ① **情景**……有名な旋律が出てくるこの曲は、第 2 幕でオデット姫とジークフリート王子が運命的な出会いをする湖に白鳥が集っている静かな場面で演奏される。
- ② **四羽の白鳥の踊り**……同じ第 2 幕で踊られるいくつかの白鳥の踊りの中の 1 曲であるが、4 人の踊り手が手をつないだまま踊ることから、「四羽の白鳥の踊り」としてよく知られている。
- ③ **ファンファーレ**……第 3 幕の王子の花嫁選びのための舞踏会は華やかなファンファーレで始まる。花嫁候補として各国の王女が登場し、お国自慢の舞曲を次々に踊ってゆく。
- ④ **ナポリの踊り**……明るくのびのびした旋律がホルネットで演奏される。後半はテンポが速まり、タランテラ (tarantella) という快速テンポの民族舞踊で終わる。ホルネット・ソロは大内仁。
- ⑤ **ロシアの踊り**……ヴァイオリンの超絶技巧が要求される難曲。原譜には無かった曲で、チャイコフスキー自身が初演時に追加した。たぶん、ロシア国内で初演するのにロシアの王女が出てこないとお客から不満が出る、と考えて追加したものと推測される。ワセキン版は、この曲を原曲どおりヴァイオリン・ソロで。ソリストは渡辺裕子。
- ⑥ **ハンガリーの踊り**……チャルダッシュ (czardas) というハンガリー独特のリズムによる曲。前半のゆっくりとしたテンポの中にも緩急がある。中間部でテンポが上がり、さらに終盤にむけて加速を続けて終わる。

Part 2

アランフェス協奏曲より (J.Rodrigo Vidre, 山瀬幸雄編曲)

スペインの盲目の作曲家、ホアキン・ロドリーゴによるギター協奏曲。本日演奏する第 2 楽章のコール・アングレ (イングリッシュ・ホルン) から始まる主旋律が特に有名で、マイルス・デイビスやジム・ホールなど、多くのジャズ・ミュージシャンが取り上げている。今回はフリューゲルホーンのソロで。ソリストは山瀬幸雄。

バンドネオン協奏曲より (A.Piazzolla, 大原実編曲)

CM で使われて有名になったアルゼンチンの作曲家・バンドネオン奏者、A・ピアソラが作曲したバンドネオンとオーケストラのための協奏曲。バンドネオン・ソロを2本のトランペットで演奏する。ソロは北村和弘と坪井賢一。

Misty China Town (松任谷由実 大原実編曲)

ワセキンがほとんど毎回演奏するユーミン(1954-)の作品から今年は2曲。1曲目は1992年のアルバム「Tears and Reasons」から。霧にかすむ中華街の大晦日の風景を歌っている。OD (オヤジ・ダンサーズ) が登場! ご注目を。

天国のドア (松任谷由実 大原実編曲)

2曲目は1990年のアルバム「天国のドア」のタイトルナンバー。トロンボーンがエンジン音のドップラー効果を表現。

Getaran Jiwa ゲタランジワ (P. Ramlee, 由谷一幾編曲)

昨年11月のペナン公演のために編曲した「マレーシア近代音楽の父」とも呼ばれるP・ラムリーの代表曲。俳優・監督・脚本家でもあり、音楽も作曲だけでなく、歌やさまざまな楽器の奏者としても知られる。1973年に44歳という若さで亡くなっている。「ゲタラン・ジワ(Getaran Jiwa)」は「揺れる心」という意味。

管弦楽のためのラブソディ (外山雄三, 中島章博編曲)

NHK交響楽団が1960年に行なった海外演奏旅行のアンコールピースとして作曲された。完成は同年7月。同月に岩城宏之指揮NHK交響楽団により東京都体育館にて初演された。日本の民謡が素材となっており、和太鼓、チャンチキ、ボンゴなどの打楽器が多用されている。

早稲田の杜金管合奏団 The Waseda Brass

Conductor 中島章博
Trumpets 磯崎直人 SCHILKE/B 大内仁 SCHILKE/B、BESSON/B、YAMAHA/FL
北村和弘 MARCATO/B、YAMAHA/Picc **Concertmaster**
久保正彰 BACH/B **Master of Ceremony**
杉山雅彦 BACH/B、YAMAHA/FL 武内昌徳 BACH/B、YAMAHA/Picc
坪井賢一 YAMAHA/B、BOOSEY & HAWKS/FL 山瀬幸雄 MARCATO/B、MARCATO/FL
Horns 川俣裕章 ALEXANDER 103 高橋正幸 ALEXANDER 200 辻村憲治 ALEXANDER 200
塚田義昌 E.SCHMID/full triple 矢澤元 ALEXANDER 103 渡辺勇次 ALEXANDER 103
Trombones 赤尾達也 LÄTZSCH **Inspector** 内田憲一 THEIN 小倉啓美 BACH
酒井忠雄 KROMAT/Bass 天明昭男 COURTOIS
Euphonium 山田徹 WILSON
Tubas 新井英介 BESSON/Es 今泉康弘 ST.PETERSBERG/B 牛野広一郎 MEISTER ANTON/C
駒形正人 RUDOLF MEINL/C
Percussion 石田了 上野真澄 田中厚 由谷一幾
Arrangement 大原実 Stage Manager & Violin 渡辺裕子

中島章博（指揮者） *profile*

1981年、フランス、パリ生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。在学中は早稲田大学交響楽団（ワセオケ）のフルート奏者として活動し、湯川和雄（元東京都交響楽団首席奏者）、岩佐和弘（サイトウキネンオーケストラ等）の両氏に師事。ワセオケ入団後より本格的に指揮の勉強も開始し、クルト・レーデル、シメオン・ピロンコフ Jr.（ウィーン国立音楽大学助教授）、杉山直樹の各氏に、同時にソルフェージュを久隆信氏に師事する。2006年8月、オーストリアおよびチェコで開催されたチェコ国立モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団の「国際指揮マスターコース」で「修了演奏会指揮者」に選出され、オロモウツ、モラヴィアフィルハーモニーホールで同管弦楽団を指揮してベートーヴェン交響曲第8番を演奏し、好評を博した。建築音響工学を専攻する研究者でもあり、東京大学大学院工学系研究科博士課程に在籍しつつ、2007年秋よりザルツブルク・モーツァルテウム大学指揮科へ留学、現在、デニス・ラッセル・デイヴス、ホルヘ・ロッター両氏に師事している。ワセキンを率いて2006年、2007年と、連続してマレーシア・ペナン州で公演した。

ワセキン年次報告 *annual report*

2007年のワセキンは、3月3日の第7回定期演奏会のあと、珍しくすぐに練習計画を立案しました。8月の草加市立病院コンサート、9月の夢の島熱帯植物館コンサート、そして11月の第2回ペナン公演と、3ツアー計5公演というワセキン史上、最多公演数が待っていたからであります。指揮者の中島章博はザルツブルクへの留学が決定し、夏以降は日々の練習指揮を団員の友人である音楽家、瀧澤寛さん、今瀬康夫さん、そしてわれらが若き後輩であり、本日は打楽器奏者として出演している由谷一幾に依頼し、メールでザルツブルクの中島と連絡をとりつつ練習を重ねてきたのであります。急なお願いをきいていただいた皆様、ありがとうございました。

ペナン公演では、第一夜に用意していた「ガブリエリ・コンサート」にペナン州の文化人が参集し、ことのほか好評でございました。マレーシアの代表的な日刊英字紙である *The Star* が12月4日付の文化欄で、*Enchanted evening* と題した非常に格調高い批評記事をでっかい写真とともに掲載してくれました。ロビーに置いてありますので、ご高覧くださいませ。また、公演をサポートいただいたペナン在住の美術家、中山一人さんご夫妻、そして在ペナン日本国総領事館からは、これまたでっかいワセキンのペナントをいただきました。これも展示してありますので、どうぞペナンの雰囲気をお楽しみください。ではまた来年！

応援します。あなたの専門店「ダク」

Musical
Instruments
Shop

DAC

管楽器はダクで。

お問合せ先 **TEL(03)3361-2211**
FAX(03)3361-4300
Eメール:info@kkdac.co.jp

営業時間11:00~20:00(※日祝日は10:30~18:00)
●ダクの定休日は毎月第1・第3水曜日です。(ただし祝日を除く)

株式会社ダク 東京都新宿区百人町2-8-9 (〒169-0073)
ダクのホームページ <http://www.kkdac.co.jp/>



ダクの運営するミュージックスクール
クラシックコースとポピュラー&ジャズコース
随時生徒募集中心!

MUSIC SCHOOL

Da Capo
ダカーポ

●入会のお問合せはお気軽に
TEL(03)3361-4110
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-6-4
※音楽用品「ダク」でもお問合せを受け付けています。